

Sports Fukushima

スポーツふくしま

27
2012.3

(財) 福島県体育協会 〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館
TEL 024-521-7896 FAX 024-521-7971



みんなでスポーツを!
I will play sports together!

巻頭言

スポーツの力でふくしまを元気に！

皆様方には、日頃より地域におけるスポーツの普及・推進にご尽力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

昨年の東日本大震災から1年が経過しましたが、復興への道のりは依然険しく、解決しなければならない課題は山積している状況です。そうした中、福島を愛し、ふるさとの再生を願う私達県民を勇気づけてくれるスポーツの明るい話題は、改めてスポーツが復興の力にもなっていることを実感しているところです。

さて、先般、岐阜、愛知両県で開催されました、第67回国民体育大会冬季大会のスケート競技では、少年女子の活躍で6年ぶりに競技得点10点を獲得する頼もしい活躍がありました。中でも郡山商業高校の水澤彩佳選手（1年）は出場全種目に入賞を果たす快挙でした。ご承知のように、来年の第68回国体は東京都開催となりますが、冬季国体スピードスケート競技会は、郡山スケート場で開催することが決定いたしました。ふくしま国体以来、実に18年ぶりの開催となります。この開催につきましては、東京都が東日本大震災の被災地支援として、スポーツの力でふくしまの復興にお役に立ちたいとの熱い願いが込められております。県体育協会といたしましても、このことを踏まえ、関係機関・団体と連携し競技力の向上、施設整備の充実、そして、地域の活性化を図る上でも大会成功に期待を寄せているところです。

一方、2月に開催されたスキー競技では、若松商業高校の菊地拓也選手（3年）、郡山自衛隊の宗像千佳選手が入賞を果たし、県民に活力をもたらしてくれました。

さらに、全国高校総体スキー競技では、猪苗代高校の渡部剛弘選手（3年）が男子ノルディックコンバインドで準優勝を飾りました。渡部選手は、2012年の全日本スキー

連盟ジュニアチームメンバー入りも果たし、すでに、バドミントンナショナルチーム入りが決まっております富岡高校の桃田賢斗選手（2年）とともに、今後は世界の檯舞台での活躍も期待されるところです。

ところで、大震災と原発事故への対応に追われる最中、これまでの「スポーツ振興法」が廃止され、昨年新たに「スポーツ基本法」が施行されました。これは、「スポーツ振興法」が制定されてから半世紀も経過し、この間、わが国や世界のスポーツ界を巡る環境が大きく様変わりしたことが起因となっております。「スポーツ基本法」の前文は、「スポーツは、世界共通の人類の文化である」と謳っており、続いてスポーツの価値や意義、スポーツの果たす役割の重要性が示されております。

県体育協会におきましても、この「スポーツ基本法」や「ふくしまスポーツ元気創造プラン」の趣旨に沿って、県民の誰もが生涯に亘って、いつでも、どこでも「豊かなスポーツライフ」が享受できるよう各種の生涯スポーツ事業を推進するとともに、「スポーツに強いふくしま」を目指し選手強化事業を積極的に進めて参りたいと思います。

皆様方には、これからも普段の生活の中で、一層「スポーツをする、みる、支える」これらの諸活動に積極的に加わっていただき、自らの健康の保持増進と本県の競技力向上、そしてスポーツを通し「ふるさと福島」の復興に、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今こそ、県民こぞで「スポーツの力でふくしまを元気に！」の気持ちで盛り上げて参りましょう。



副会長 宗形 守敏

も

く

じ

1 巻頭言

2 第67回 国民体育大会 冬季大会結果

3 第67回 国民体育大会 冬季大会寄稿

5 平成23年度（財）福島県体育協会 表彰式

7 富岡高校バドミントン部特集

8 尚志高校サッカー部特集

9 平成23年度 福島県スポーツ指導者研修会 日本体育協会公認スポーツ指導者等表彰・ 全国指導者研修会

10 スポーツ医事・トレーニング相談事業の様子 スキーリゾートふくしま創造会議

11 日本体育協会公認スポーツ指導者養成講習会

12 うつくしま広域スポーツセンター事業の様子 インフォメーション

13 みんなでつくろう総合型！ 総合型地域スポーツクラブ

14 平成23年度県民スポーツ振興協力会員名簿 編集後記

【表紙写真説明】第67回国民体育大会冬季大会
（左上）アイスホッケー競技（成年男子）
（左下）宗像千佳選手（郡山自衛隊）（写真提供：福島民友）

（右上）水澤彩佳選手（郡山商1年）（写真提供：福島民友）
（右下）菊地拓也選手（若松商3年）（写真提供：福島民友）

第67回 国民体育大会冬季大会結果

1 参加状況

大会	区 分	会 期	開催地	団 長	参 加 競技数	派 遣 人 数			
						役 員	監 督	選 手	合 計
スケート競技会 アイスホッケー競技会		平成24年 1/27(金)～2/1(水)	岐 阜 県 愛 知 県	佐藤 英壽	2	9	6	34	49
ス キ ー 競 技 会		平成24年 2/14(火)～2/17(金)	岐 阜 県 高 山 市	渡部 孝美	1	9	8	46	63

2 競技成績

大会	区 分	天 皇 杯				皇 后 杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順 位	競技得点	参加得点	得点合計	順 位
スケート競技会		10.0点	10点	20.0点	20位	10.0点	10点	20.0点	16位
アイスホッケー競技会		0.0点	10点	10.0点	11位	—	—	—	—
ス キ ー 競 技 会		4.0点	10点	14.0点	18位	3.0点	10点	13.0点	13位
合 計		14.0点	30点	44.0点	24位	13.0点	20点	33.0点	19位

3 入賞状況

スケート競技 競技得点 10.0点 天皇杯 20位 皇后杯16位

種 別	種 目	順 位	得 点	選 手 名	所 属
少年女子	スピード 1500m	4位	5.0点	水 澤 彩 佳	郡山商業高等学校1年
	スピード 3000m	7位	2.0点	水 澤 彩 佳	郡山商業高等学校1年
	スピード 2000mR	6位	3.0点	古 川 栞 有	郡山商業高等学校2年
				古 川 幸 樹	尚 志 高 等 学 校 1 年
				平 泉 絵 理	郡山商業高等学校2年
				水 澤 彩 佳	郡山商業高等学校1年

スキー競技 競技得点 15.0点 天皇杯 12位 皇后杯13位

種 別	種 目	順 位	得 点	選 手 名	所 属
成年女子B	クロスカントリー	6位	3.0点	宗 像 千 佳	郡 山 自 衛 隊
少年男子	ジャイアントスラローム	8位	1.0点	菊 地 拓 也	若松商業高等学校3年



スケート結団式



ぎふ清流国体に出場して ～感謝の1年～

スピードスケート競技 少年女子 水澤 彩佳
(福島県立郡山商業高校1年)



1月28日から1月31日まで岐阜県恵那市で開催された「ぎふ清流国体」に、福島県代表として初めて出場させていただきました。今年度、スピードスケート競技に掲げられた競技得点の目標は10点。「絶対に入賞し、福島県に貢献したい」と気が引き締まりました。

今年度は、東日本大震災の影響もあり、例年より約1カ月遅れの練習開始となってしまいました。練習再開後も屋外での練習がままならない厳しい環境の中、持久力の向上やローラースケートなどの技術練習は顧問の先生の計画のもと県外で練習を積んできました。夏には、北海道帯広市にある屋内スケートリンクで、秋には秋田県スケート場で、1月には再び、帯広市で氷上合宿を積み、私自身が課題としていたスケートフォームの改善に取り組むこともできました。これも、福島県・福島県スケート連盟、そして校長先生を始めとする学校の先生方のご理解とご支援があつてのことと感謝しております。震災の影響も沢山ありましたが、多くの方々のご厚意により強化合宿も例年以上に手厚く、充実した練習をさせていただきました。1月の帯広合宿では、オリンピックに出場した高木美帆選手がいる帯広南商業高校との合同練習を実施し、技術的なことは勿論のこと、春からの練習の成果を確認することができ、これまで積み重ねた練習に自信を持つことができました。このことがよい経験となり、滑り方も安定し心にも大きな余裕が生まれ、万全な状態で国体を迎えることができました。

大会初日、初めての国体レースとなる1500m予選では、同組5人のベストタイム差がほとんどない中、決勝に進めるのは上位2名。追い込まれた状況でした。しかし展開を冷静に考え、ラスト300m勝負で3人を振り切って2着でゴール。決勝進出を果たせた瞬間でした。これが自信となり、次の3000m予選は落ち着いたレース展開で2種目の決勝進出を決めました。

迎えた3日目。いよいよ1500mの決勝でしたがとにかく必死に食らい付き、1つでも前を。そして悔いの残らないレースを。」と考えスタートに着きました。結果は、私自身初となる全国大会4位入賞と同時に福島県に競技得点5点をもたらすことができました。この結果は、とても嬉しく涙が溢れ出しました。次のレースにも繋がる大きな自信ともなりました。

最終日。3000mの決勝では、他県選手との接触で転倒というアクシデントもありましたが7位入賞を果し、残るは2000mリレーの決勝。この時点での競技得点は7点。目標とした10点にはリレーでの6位以内への入賞が絶対条件でした。日頃から一緒に練習してきたメンバー4人が心をひとつにして挑み、見事6位入賞を果たし、競技得点10点を獲得した瞬間でした。メンバーを含め、福島県選手団には満面の笑みがこぼれ、喜びを爆発させていました。

こうした結果を残せたのも、福島県スケート連盟、顧問の先生方のご指導、長尾トレーナーのサポートと、全国のみなさんの福島に対する温かい応援のおかげだと深く感謝しています。

来年度の国体は東京国体。スピードスケート競技は地元郡山市・磐梯熱海での開催となります。今の感謝の気持ちを忘れず日々練習を積み重ね、必ず表彰台に登り、福島県民のみなさんに元気を届けられるよう精進していきたいと思ひます。



少年女子スピードスケート 2000mリレー 第6位
(左から) 水澤彩佳(郡山商1年) 平泉絵里(郡山商2年)
古川栞有(郡山商2年) 古川幸樹(尚志1年)
(写真提供:福島民友)



スケート結団式

ぎふ清流国体に参加して

ジャイアントスラローム競技 少年男子 菊地 拓也
(福島県立若松商業高校3年)



私は、第67回国民体育大会ぎふ清流国体少年男子ジャイアントスラローム競技で、8位入賞することができました。この入賞は、私を支え応援してくれた人のおかげであると考えています。

私は、幼少時代からアルペンスキーに取り組んできました。そして中学のときには、全国大会で入賞することができました。しかし高校に入ってから、全国大会で思うような滑りができず、成績も全が残すことができませんでした。最終学年となりスキー部の部長という立場になった今季は、自分で考え、必要だと思ったことに取り組みました。その一つが読書です。本を出版するスポーツ選手は結果を残していると考え、サッカー選手、長谷部誠さんの『心を整える』から読み始め、多くのスポーツ選手の本を読み、自分に生かせることはないか探しました。どの選手も自分の信念を持ち、目標達成のために努力をしていました。そしてコミュニケーションを大切にしていることがわかりました。そこで私も、スキーをしている方はもちろんのこと、スキー以外のスポーツをしている方やスポーツをしていない方、初めて会う方など、出会った人々とは積極的にコミュニケーションをとることを意識しました。他愛もない内容から人生論まで幅広く話しました。そして話の内容などをもとに、自分で練習内容や目標、自分の理想像であるスポーツだけでなく、人としても模範となる選手になるための行動を考え、顧問の先生と話し合い、トレーニングをしてきました。ただ漫然と滑るのではなく、常に考え、理想に近づこうとすることで、国体で入賞することができたと考えています。今回、国体入賞という結果を残すことができ、本当に嬉しく思っています。この結果に多くの方が喜んでくださったことも嬉しかったです。自分の周りには多くの人のサポートがあることを再確認でき、その方たちに感謝を伝えることもできました。



今大会は復興大会ということで、原発問題を抱える福島県選手団の注目度は高いものでした。そんな中で最終日に行われた少年男子の競技で、表彰式に参加することができました。式後、本県選手団で表彰台を使い、「あたたかいご支援ありがとうございます。ほんとうの空と大地が戻るまで頑張ります」と書かれた横断幕を全国に発信することができたことも良かったです。私は来年度から大学に入学しアルペンスキーを続けます。今大会のことを胸に刻み、福島県出身の誇りを持って生活し、また全国の舞台で必ず結果を残したいと考えています。

国体への想い

クロスカントリースキー競技 成年女子B 宗像 千佳
(郡山自衛隊)

大会当日、今年も昨年と同様、周りの選手は元オリンピック選手や、若い選手が出場しており、不安な気持ちになりました。でも今年は違いました。昨年の8位を上回る6位に入賞できたのも、今年の国体にかかる強い想いがあったからだと思います。

今年の国体にかかる想いは、以前とは違い『自分のため』というよりは、スキーをさせてくれ、協力し励ましてくれた『家族のため・職場の人達のため』でした。そして、なにより東日本大震災で被災した福島県民のために、元気やパワーを与えたいという想いがあり、絶対に入賞したいと強く思って挑みました。

強い想いがある分、昨年と違ってプレッシャーが重くのしかかりました。昨年は楽しく出来たスキーもなかなか楽しめず、シーズン初めはモチベーションも上がらず、不安ばかりが先に立ち辛い時が度々ありました。

この不安に打ち勝つには、厳しいトレーニングを積むしかありません。特に今年は、昨シーズンの反省点であった筋力の強化とスピード強化に取り組んだことが良かったように思っています。



電光掲示板に、自分の結果が出た瞬間、今までの想いと安堵感が込み上げ涙が溢れました。そして、福島県選手団の方やチームメイトに『おめでとう!!』と涙ながらに言ってもらえたことで、少しでもみんなのために頑張れた、力になれたと実感し嬉しく思えました。

一時は、震災の影響によりスキーが出来ないかもしれないと思ったこともありました。

また、昨年同様、育児・家事・仕事・スキーとの両立が難しく、心身共に辛い時もありました。

しかし、無事に6位入賞という納得できる結果が残せたのも、スキーをすることを理解し支えてくれた夫、心身共に疲れて辛い時に、元気に可愛い笑顔で癒してくれた息子、そして、吹雪の中、どんな時でも励ましあながら練習してきたチームメイト、協力し激励をしてくださった職場の方、周囲の方々のおかげだと深く感謝しています。

私にスキーが出来る環境を与えてくれた、たくさんの方々に感謝しつつ、またスキーで得た経験を生かし新たな気持ちで頑張っていこうと思います。

平成23年度 財団法人福島県体育協会 表彰式

平成23年度財団法人福島県体育協会表彰式は、11月25日に福島市のウェディングエルティにて行われました。

式では各受賞者に佐藤雄平会長より表彰状が授与され、受賞者を代表して優秀指導者賞を受賞された軽部英敏さん(カヌー競技)より謝辞がありました。

表彰式終了後行われた懇親会では、受賞者と会長とのスナップ撮影や会長をはじめ来賓の皆様より受賞者一人ひとりへのお祝いと激励がなされました。

下記は今年度受賞された皆様です。(敬称は省略させていただきます。)



表彰を受ける大堀直也さん(田村高校)

スポーツ功労賞 多年にわたり、本協会の運営並びに事務遂行に貢献し、本県スポーツの振興に功績のあった方々

- | | | |
|---------------------|------------------------|------------------|
| ●川島 登(福島県ソフトテニス連盟) | ●小野 健(福島県綱引連盟) | ●坂本 守(県中地域連合会) |
| ●佐藤 安弘(福島県ライフル射撃協会) | ●渡辺 末雄(福島県グラウンド・ゴルフ協会) | ●坂本 満恵(いわき市体育協会) |
| ●後藤 泰夫(福島県バドミントン協会) | ●中東 稔(福島県スポーツチャンバラ協会) | |
| ●穴戸 哲男(福島県柔道連盟) | ●佐藤 良平(県北地域連合会) | |

優秀選手賞(個人) 本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた選手及び国際大会に出場した選手

- | | | |
|--|---|--|
| 陸上競技
●攪上 宏光(駒澤大学3年)
●村上 康則(富士通㈱)
●渡辺 真弓(東邦銀行)
●五十嵐麻央(福島大学1年)
●伊藤 彩(福島大学1年)
●青木沙弥佳(東邦銀行)
●佐藤 真有(東邦銀行)
●田嶋 和也(東海大学3年)
●白井 伶欧(北沢又RC(北沢又小6年))
●岡崎 達也(福島成蹊高校1年)
●坂下 薫乃(福島市立福島第一中学校2年) | ●齋藤 太一(富岡高校3年)
●小林 優吾(富岡高校1年)
●大堀 彩(猪苗代町立猪苗代中学校3年(富岡第一中))
●小林 大吾(猪苗代町立猪苗代中学校2年(富岡第一中))
●光島 理貴(猪苗代町立猪苗代中学校2年(富岡第一中))
●三橋 健也(猪苗代町立猪苗代中学校2年(富岡第一中)) | ●佐藤 里咲(会津若松市立第四中学校2年)
●栗城 桃(会津若松市立第一中学校3年)
●石井 晴菜(会津若松市立第三中学校3年)
●佐藤 初音(会津若松市立第三中学校3年)
●鍋谷早智子(会津学鳳中学校3年)
●松橋笑美花(会津学鳳中学校3年) |
| 卓球
●佐藤 匠海(富久山卓球クラブ(行健小2年))
●甚野 道雄(トーアエイヨー㈱)
●根本 理世(中央大学2年) | アマチュアボクシング
●佐久間脩太(勿来工業高校3年)
●須佐 勝明(自衛隊体育学校) | ボウリン
●伊藤 丈(㈱東北装美) |
| 水泳
●山口 雅文(ミズノ㈱)
●加藤 和(山梨学院大学3年)
●小松 桃子(湯本高校1年)
●加藤 樹(福島市立岳陽中学校2年)
●遠藤 太陽(福島成蹊高校3年)
●吉田 佳世(日本体育大学2年)
●宗像 康誠(郡山市立安積第三小学校6年) | 弓道
●根本久美子(㈱日東発條) | カヌー
●小久保南海(二本松市立二本松第一中学校2年)
●加藤 純(加藤工務所)
●宮田 悠佑(鹿屋体育大学2年)
●三浦 翔太(専修大学2年)
●菊地 純一(専修大学4年)
●久野 綾香(㈱久野製作所)
●中野 友貴(筑波大学2年)
●野地 裕太(二本松市立東和中学校3年) |
| 自転車競技
●古河 麻美(日本体育大学3年)
●黒澤 洋徳(日本大学3年)
●緑川 竣一(中央大学1年)
●久保田元気(日本大学1年)
●吉田 優樹(学法石川高校2年)
●金内 一行(白河実業高校3年)
●小酒 大勇(平工業高校3年)
●窪木 一茂(日本大学4年) | スケート
●野内 俊吾(㈱マツダレンタカー福島) | トランボリン
●菊地 智周(相馬市立向陽中学校3年) |
| バドミントン
●大堀 麻紀(福島県バドミントン協会)
●齊藤 清人(相馬東高校 教員)
●永井香代子(福島県バドミントン協会)
●吉田 邦男(福島県バドミントン協会)
●遠藤夫美子(福島県バドミントン協会)
●松居圭一郎(富岡高校2年)
●桃田 賢斗(富岡高校2年) | 馬術
●杉本 葵生(富里市立富里北中学校3年(小高中)) | トライアスロン
●鋤崎 隆也(いわき光洋高校3年)
●石塚 祥吾(神奈川大学4年) |
| | ウエイトリフティング
●石幡 和也(福島工業高校3年)
●菅野 真央(川俣高校3年)
●熊川 雄太(拓殖大学2年)
●官野 由佳(平成国際大学3年)
●清野 裕司(福島明成高校 教員) | 障がい者スポーツ協会
●佐藤 智美(まちなか夢工房)
●豊島 英
●佐藤 聡(㈱ダイユーエイト)
●佐藤 健太(県立盲学校) |
| | レスリング
●井上 佳子(クリナップ㈱)
●鈴木 博恵(クリナップ㈱) | 福島県高等学校体育連盟
●鎌田 悠暉(郡山萌世高校 定時制)
●山ノ内みなみ(郡山萌世高校 通信制)
●遠藤 瑛穂(郡山萌世高校 通信制)
●綿引 聖(東日本国際大学昌平高校 通信制) |
| | フェンシング
●佐々木陽菜(福島成蹊中学校3年)
●三浦菜都美(川俣高校3年) | 福島県中学校体育連盟
●古賀 穂(猪苗代町立猪苗代中学校3年(富岡第一中))
●高嶋 道(猪苗代町立猪苗代中学校3年(富岡第一中))
●林 達也(猪苗代町立猪苗代中学校3年(富岡第一中))
●濱北 もも(猪苗代町立猪苗代中学校3年(富岡第一中))
●東野 有紗(猪苗代町立猪苗代中学校3年(富岡第一中))
●伊藤 丈晃(福島市立福島第一中学校3年)
●佐々木海帆(田村市立滝根中学校3年) |
| | セーリング
●高橋 香(福島県セーリング連盟) | |
| | アーチェリー
●西田 昌司(アストラゼネカ㈱) | |
| | なぎなた
●松村 俊祐(大正大学4年)
●渡部 悠雅(会津若松市立鶴城小学校6年)
●瀧澤 李穂(会津若松市立謹教小学校5年)
●古館 佳樹(会津若松市立鶴城小学校5年)
●藤城 英人(会津若松市立謹教小学校6年)
●白石 桃子(会津学鳳中学校3年) | |

優秀選手賞(団体) 本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた団体

陸上競技

- 第66回国民体育大会 陸上競技 少年成年共通4×100mリレー 福島県
- 第59回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 4×100mリレー 東邦銀行
- 第95回日本選手権リレー競技大会 4×100mリレー 東邦銀行
- 第95回日本選手権リレー競技大会 4×400mリレー 東邦銀行
- 第59回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 団体総合 東邦銀行
- 第59回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 女子総合 東邦銀行

ソフトテニス

- 第28回全日本小学生ソフトテニス選手権大会 福島県男子選抜

自転車競技

- 第66回国民体育大会 自転車競技 4km団体追抜競走 福島県
- 第80回全日本アマチュア自転車競技選手権大会 トラックレース4km団体追抜競走 福島県

バドミントン

- 平成23年度全国高等学校総合体育大会 バドミントン競技 男子団体 富岡高校
- 平成23年度全国高等学校総合体育大会 バドミントン競技 女子団体 富岡高校
- 第66回国民体育大会 バドミントン競技 少年男子 福島県

柔道

- 平成23年度全国高等学校総合体育大会 柔道競技 田村高校
- 第66回国民体育大会 柔道競技 少年男子 福島県

新体操

- 第29回全日本ジュニア新体操選手権大会 男子団体 華舞翔新体操倶楽部

なぎなた

- 第66回国民体育大会 なぎなた競技 成年女子試合競技 福島県
- 第52回都道府県対抗なぎなた大会 試合競技 福島県

カヌー

- 平成23年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技 女子カヤックペア500m 安達高校
- 平成23年度日本カヌースプリントジュニア選手権大会 女子カヤックペア500m 福島県カヌー協会
- 平成23年度全国中学生カヌー大会 男子カヤックフォア500m 東中学校
- 平成23年度日本カヌースプリントジュニア選手権大会 女子カヤックフォア500m 福島県カヌー協会
- 平成23年度日本カヌースプリントジュニア選手権大会 女子カヤックフォア200m 福島県カヌー協会

綱引

- 2011全日本ジュニア綱引選手権大会 男子ユース480kg以下クラス 若宮スピリッツ
- 2011全日本ジュニア綱引選手権大会 男子ジュニア360kg以下クラス 木幡べんてんJr
- 2011全日本ジュニア綱引選手権大会 ジュニア280kg以下クラス ヤングブラザーススポーツ少年団

福島県中学校体育連盟

- 平成23年度全国中学校体育大会 バドミントン競技 男子団体 猪苗代中学校
- 平成23年度全国中学校体育大会 バドミントン競技 女子団体 猪苗代中学校
- 平成23年度全国中学校体育大会 陸上競技 男子4×100mリレー 福島第四中学校

優秀指導者賞 優秀選手の育成に直接貢献した指導者

陸上競技

- 川本 和久 福島大学 教授

ソフトテニス

- 森 陽三 富岡町ソフトテニススポーツ少年団

卓球

- 深谷 秀三 富久山卓球クラブ

水泳

- 小柳 隆行 福島スイミングスクール

バドミントン

- 大堀 均 富岡高校 教員

柔道

- 下山田恵一 田村高校 教員

柔道

- 遠藤 雅一 若松商業高校 教員

新体操

- 山田 智史 華舞翔新体操倶楽部

スキー

- 豊澤 徹也 猪苗代高校 教員

ウェイトリフティング

- 渡部 靖 川俣高校 教員

ウェイトリフティング

- 長南 国彦 福島工業高校 教員

なぎなた

- 足立 美香 会津学鳳中学校 教員

カヌー

- 軽部 英敏 安達高校 教員

カヌー

- 山田 博史 二本松市立東和中学校 教員

トランポリン

- 大谷 芳生 相馬トランポリンクラブ

綱引

- 笠原 則人 若宮スピリッツ

綱引

- 内谷 昌史 木幡べんてんJr

綱引

- 小野田浩宗 ヤングブラザーススポーツ少年団

福島県中学校体育連盟

- 齋藤 亘 猪苗代町立猪苗代中学校 教員(富岡第一中所属)

福島県中学校体育連盟

- 武藤 利教 福島市立福島第四中学校 教員

特別賞

国民体育大会の競技別優勝や世界大会で特に顕著な活躍をした団体・個人

- 富岡町
東日本大震災の苦難にあっても、双葉地区教育構想により中高生の教育活動を支援し、バドミントン競技において全国中学校体育大会、全国高等学校体育大会、また、国民体育大会での優勝に導いた功績はまことに大である。



富岡町 遠藤勝也町長



代表謝辞 軽部英敏さん



富岡高校バドミントン部 桃田選手・大堀先生 Q&A



Q1 出身は？

—— 香川県三豊市です。

Q2 バドミントンを始めたきっかけは？

—— 姉がやっているのをみて、楽しそうだったから。

Q3 今まで一番印象に残った大会は？それはなぜ？

—— インターハイダブルスの優勝。
富岡の初優勝でもあり、太一先輩との最後の個人戦だったから。

Q4 得意なショットは？

—— ヘアピンです。

Q5 今自分にとって足りないものは？

—— パワー・スタミナ・精神力です。

Q6 今年の目標は？

—— 日本（千葉）で開催する、世界ジュニアバドミントン選手権大会で国別対抗とシングルスで優勝することです。

Q7 将来の夢は？

—— オリンピックのシングルスで金メダルを取り、その後俳優になることです。

Q8 バドミントンとは？

—— 凄く繊細で相手をだまして崩していく、答えの無いスポーツだと思います。



Q1 バドミントンの面白いところ、難しいところは？

—— 相手の心身の状態を読み取り、
自らを優位に立たせようとするところ等、
面白さでもあり難しさでもある。

Q2 部員に望むことは？

—— 謙虚な姿勢で何事にも全力で取り組んでほしい。
そして「MIND OVER BODY」

Q3 トレーニングに一番気をつかうことは？

—— 筋肉と語り合いながら実践すること。5原則の遵守。

Q4 先生の目標は？

—— バドミントンが大好きな選手たちを育てること。プレーヤー・指導者・
競技を側面から支える人などバドミントンと共に生きていてほしい。
ダイエット・禁煙



第90回全国高校サッカー選手権大会「全国第3位」 尚志高校サッカー部インタビュー

【仲村浩二・監督】

○凱旋してからの反響は？

…大きな評価をいただいたと感じています。県内の多くの方から「あきらめずにがんばっている姿を見て、元気が出た！」などのたくさんの声が寄せられてうれしかったです。

○「特別な年」でした。どんな1年でしたか？

…サッカーができない環境に初めて身を置いて、今までのことを改めて見直し、より本気になりました。

○3年連続5度目の全国大会。今回、チームにどんな戦い方をさせようと考えましたか？

…福島県に勇気や希望を与えようというテーマがあったので、「あきらめない心」で戦い抜こうと考えました。

○準決勝は県代表としての初の国立。選手と共にピッチに立った感想はいかがでしたか？

…正直、施設としては他の競技場の方が立派なのですが、めざしてきた場所なので、特別な思いになりました。びっくりしたのは、非常に声が届きにくいことです。選手同士でも困っている場面がありました。勉強になりました。

○今回の「全国第3位」をどのように受け止めていますか？

…全国制覇はできませんでしたが、歴史ある第90回大会で県勢初の第3位になったことには満足しています。レベルの差をそれほど感じなくなったことが大きいです。

○準決勝は尚志高校初の全校応援でしたが、いかがでしたか？

…全校応援は監督としてというよりも教師としての夢でした。学校が一つになって応援する素晴らしい機会をみんなでつくることができて本当にうれしかったです。

○「選手権」を戦い抜くために大切なことは何ですか？

…チーム力でしょうか。大切なことはたくさんありますが、中でもチームのよい雰囲気が非常に大切です。

○卒業生たちへはどんな言葉を贈ったのですか？

…生徒は、3年間本当にサッカーに一生懸命打ち込んできました。その努力は素晴らしかったなので、これからも熱い心を持って目標に向かってがんばってほしいと伝えました。

○監督としての今後の豊富をお聞かせください。

…やはり今回成し遂げられなかった全国制覇をめざしていきたいですね。プロ選手も輩出したいです。また全校応援してもらえるようにがんばります。

○最後に県民のみなさんに一言お願いします。

…県民に勇気や希望を与えようという思いがありましたが、逆に熱い応援に支えられたという気がします。特に3回戦のPKではなぜか負ける気がしませんでした。あきらめないで戦い抜くことができたのは、支援・応援してくださったみなさんのおかげだと思っています。

【皿良優介・新キャプテン】

○準決勝は国立でした。ピッチに立った感想は？

…これまでの競技場とは雰囲気が違っていました。一つ一つのプレーに対しての歓声もすごかったです。

○準決勝は全校応援でした。熱いエールは選手達に届きましたか？

…プレー中は気づかないのですが、プレーが途切れるたびにすごく感じました。

○最後まで道のりは険しかったと思いますが、どんな意識で戦い抜いたのですか？

…毎試合が決勝のつもりで戦いました。

○悔し涙の表彰式でしたが、監督からどんな言葉をかけられましたか？

…「目標は達成できなかったが、あきらめない心は伝わった。胸を張って帰ろう。」と言われました。

○新チームとなり、今の時期はどんな練習をしていますか？

…走り込みやフィジカルトレーニングが中心です。

○新キャプテンとして、これからどのようにチームをまとめていこうと考えていますか？

…チームのみんながやりやすい環境にしたいと考えています。

○新チームの課題と新たな目標を教えてください。

…ゲームを支配するサッカーがしたいので、練習からそうした意識をいかに高く持ってやれるかが課題です。目標は全国制覇です。

○最後に、チームを応援してくれたみなさんに一言お願いします。

…支えてくれる人たちがいなければここまでこれなかったので感謝しています。自分たちはこれからも自分たちがやれることを精一杯やっていきたいと思っています。



平成23年度 福島県スポーツ指導者研修会

福島県スポーツ指導者協議会では、指導者の資質向上と指導活動の充実を図るために年3回の研修会を実施しています。今年度の第2回は全県ブロックで、第3回は県北ブロックで開催しました。

第2回 全県ブロック研修会

期 日／平成23年11月27日(日)

場 所／ユラックス熱海

内 容／特別講演 「変わる日本のスポーツ界

～スポーツ基本法の制定から～」

講 師 天野 和彦氏 東北学院大学 教養学部 准教授

研究協議 「公認スポーツ指導者の役割について」

ファシリテーター 中澤 謙氏 塩田 幸男氏

(公財)日本体育協会インフォメーションオフィサー

スポーツ基本法の制定から日本のスポーツ界がどう変わっていくのかについて、スポーツマネジメント、スポーツ行政の視点から、スポーツ基本法成立までの経緯や概要をおさながら講演を聞きました。

研究協議では、「21世紀の望ましいスポーツ指導者」について、受講者は理解を深めました。

また、大塚製薬から、水分補給の量やタイミングについて情報提供がありました。183名の受講者からは、講義の内容に関する質問が多数出され、有意義な研修会となりました。



第3回 県北ブロック研修会

期 日／平成24年1月29日(日)

場 所／飯坂学習センター

内 容／「コーディネーショントレーニングの理論と方法」
「コーディネーショントレーニングの実際」

講 師 渡部 琢也氏、佐藤 一氏

NPO法人日本コーディネーショントレーニング協会(JACOT)

コーディネーショントレーニングは、広く子どもから高齢者・障がい者・アスリートを対象とし、身体能力を7つの分野に分け、合理的に鍛えることで身体を巧みに動かす能力を総合的に身につけるトレーニング方法であることなどについて、講義を受けました。

午後は、このトレーニング理論をもとに、実際に脳と神経を刺激する多様な動きに挑戦しました。75名の受講者は、これからの指導に生かそうと、楽しみながらも真剣に実践方法について学びました。



日本体育協会公認スポーツ指導者等表彰・全国指導者研修会

日本体育協会では、顕著な功績のあった公認スポーツ指導者等に対して表彰を行っています。

今年度は、12月18日(日)にホテルニューオータニ(東京)にて表彰式が行われました。本県からは、三森一男さん(山岳上級コーチ)、村松尚夫さん(スポーツドクター)、菊池一郎さん(スポーツドクター)が受賞されました。

また、同会場にて全国指導者研修会が開催され、倉本昌弘氏(ジャパングolfツアー機構)の講演やヨーコ・ゼッターランド氏(スポーツキャスター)と間野義之氏(早稲田大学教授)の対談が行われました。

また、シンポジウムでは、宮嶋泰子氏(テレビ朝日)をコーディネーターに「スポーツ復興支援ースポーツにできること」について、川本和久氏(福島大学教授・陸上競技部監督)、高橋善幸氏(ラグビー釜石シーウェイブズGM)、松村善行氏(石巻スポーツ振興サポートセンター理事長)が震災当日からこれまでの活動とこれからの取り組みについて発表されました。



氏名(敬称略)	市町村	保有資格
三森 一男	白河市	山岳上級コーチ
村松 尚夫	福島市	スポーツドクター
菊池 一郎	国見町	スポーツドクター



国体山岳競技を振り返って

山岳上級コーチ 三森 一男

昭和51年、佐賀国体に参加し、その後県総体、東北総体、国体等に監督や競技役員として35年間携わってまいりました。静岡国体では、成年男子選手の活躍により優勝監督の栄に浴すことができました。また、平成19年の秋田国体では、日本山岳協会より審判長として指名され、大会に臨む基本方針として「選手監督・競技役員・地元自治体関係者が秋田国体に参加して良かった。」と思える国体にしようと準備段階から何度も訴え、選手が全力で成果を発揮できる環境を準備し、完全な競技運営をすることができました。『大会は競技に関係する人々が一体となるのが最も大切である。』このことを競技運営に携わる者が基本に持つことにより、スポーツの発展に繋がると思う次第です。

スポーツ医事・ トレーニング相談事業の様子

6/11 両沼地区体育指導委員連絡協議会

講義：「スポーツと栄養について」
講師：山崎有理子氏（公立藤田総合病院）

7/8 ひめさゆりくらぶ

実技：「クールダウンやマッサージの方法」
講師：馬場俊輔氏（楓鍼灸治療室）

7/20 汐見が丘小学校

実技：「ウォーミングアップ、クールダウン」
講師：永井隆太郎氏（J ヴィレッジ）

7/23 会津大学

講義：「応急処置の基礎知識並びに処置方法の実際」
講師：相原 真氏（まこと接骨院）

7/27 福島西高等学校

講義：「スポーツ傷害予防と応急手当」
講師：鬼澤武則氏（おにざわ接骨院）

11/27 県体協認定アスレティックトレーナー養成講習会

実技：「予防とコンディショニングⅠ」
講師：小林光幸氏（ラソラックス鍼灸整骨院）

1/28 川南スポーツ少年団

講義：「実力を発揮するためのメンタルトレーニング」
講師：中澤 謙氏（会津大学文化研究センター）

2/19 田村市スポーツ少年団本部

実技：「ストレッチングおよび体幹トレーニング」
講師：二瓶敦志氏（ARCクリニック）

この事業では、スポーツ愛好者や選手のけが・病気等に関する相談をはじめ、体力や種目の特性に応じたトレーニング処方を行い、健全なスポーツ活動の推進を図る目的として、依頼により、相談員・講師を派遣しています。相談員・講師は、本協会のスポーツ医・科学委員、スポーツドクター部会員、アスレティックトレーナー部会員、その他スポーツ医・科学委員会の認めた方が務めています。今年度は、3/18までに延べ48名の相談員・講師を派遣しました。



スキーリゾート ふくしま創造会議

スキーリゾートふくしま創造会議ではこの冬、「2012年第5回スペシャルオリンピックス日本の来場者おもてなし事業」を行いました。

2012年第5回スペシャルオリンピックス 日本冬季ナショナルゲーム・福島

2月10日～12日、スペシャルオリンピックスが猪苗代町・郡山市で開催されました。来場された方々に会津磐梯山エリアをもっと知っていただこうと「おもてなし（地元銘菓やパンフレット、豚汁、飲料の提供）」を行いました。

スキーリゾート創造会議HP	http://www.tif.ne.jp/jp/sp/ski2009/
スペシャルオリンピックス福島HP	http://son-fukushima.jp/



日本体育協会公認スポーツ指導者養成講習会開催

今年度の指導者養成講習会は、ソフトテニス・バレーボールの2競技で、上級指導者養成講習会は、卓球の1競技で開催され、県内各地で50名を超える受講者を集めて専門科目講習が実施されました。

「指導員」とは日本体育協会が進める公認スポーツ指導者制度に基づき、対象に合わせた競技別の技術指導などにあたるための資格です。

「上級指導員」とは対象に合わせた競技別の技術指導などにあたるとともに、事業計画の立案などクラブ内指導者の中心的な役割を担う資格です。

受講者は、技術指導理論・実技や応急処置など種目に応じた科目を30時間以上受講し、その後検定試験を受けました。

今後は、地域のスポーツ指導者として活躍することが期待されます。

なお、24年度は、ソフトテニス・水泳・バドミントン・アーチェリー・アイスホッケー・ボウリング・バレーボールで公認指導者の養成講習会を県内で開催するために、各競技団体が調整中です。



日本体育協会公認スポーツ指導者養成研修会のお知らせ

日本体育協会では、「公認スポーツ指導者制度」を定め、地域スポーツにおいて、各世代に応じた指導ができ、さらに競技力の向上においてもその知識や技能を発揮できる指導者の育成に力を入れています。平成24年度に本県で開催を希望している競技団体は、以下のとおりです。

指導員 ソフトテニス・水泳・バドミントン・アーチェリー・アイスホッケー・ボウリング・バレーボール

詳細はHPをご覧ください、県体育協会までお問い合わせください。

日本体育協会公認スポーツ指導者研修会のお知らせ

日本体育協会公認スポーツ指導者は、その資格更新のために最低4年に1度、義務研修会を受講する必要があります。(資格有効期限の半年前までの受講)

※ただし、水泳、サッカー、スキー、テニス、バドミントン、剣道、山岳、空手道、アイスホッケー、バウンドテニス、エアロビック(コーチ資格)、プロゴルフ、プロテニス、職業スキー、スクーバ・ダイビング、スポーツドクター、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士、クラブマネジャーの資格者については、別に定められた条件を満たさなければ資格を更新できません。テニスの指導者は、1ポイントの実績になります。

平成24年度は、県中ブロック、全県ブロック、いわきブロックの3回を予定しています。

インフォメーション

HOTNET

「HOTNET」は
福島県のスポーツを応援するホームページです！

<http://www.sports-fukushima.or.jp>

E-mail: info@sports-fukushima.or.jp

(財)福島県体育協会

福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館

スポーツなんでも相談

本協会では、スポーツ医事・トレーニング相談事業の一つとして、スポーツ愛好家や選手のけが、病気、栄養について、また体力や種目の特性に応じたトレーニング方法についてなど、スポーツに関することの無料相談を受け付けています。下記の方法でお問い合わせください。

① 電話によるご相談
TEL 024-521-7896

② FAXによるご相談
FAX 024-521-7971

③ メールによるご相談
info@sports-fukushima.or.jp

うつくしま広域スポーツセンター

文部科学省委託事業「広域スポーツセンター機能強化事業」

広域スポーツセンターが備えるべき機能として、総合型地域スポーツクラブの創設・支援やクラブマネジャーの育成以外にも、「トップレベル競技者の育成」や「地域のスポーツ活動に対するスポーツ科学・医学・情報面に関する支援」などが掲げられ、地域のスポーツ活動全般を効率よく支援する機能が求められています。そこで、本センターでは下記の2事業を受託し、広域スポーツセンターの機能充実を目指しています。

「地域におけるトップレベル競技者の育成支援」(平成22年度～)

県トライアスロン協会と県ラグビーフットボール協会と連携し、地域における競技水準の向上とトップレベル競技者の育成を図っています。



[ジュニアトライアスロン教室の様子]

「地域におけるスポーツ科学・医学・情報支援」(平成23年度～)

福島大学地域スポーツ政策研究所の安田俊広准教授に調査を委託し、高齢者の方々に運動習慣を獲得できた人とできなかった人との違いを明らかにすることで、地域スポーツ活動の促進に繋がりたいと考えています。



[タグラグビー教室]



[伊達市高齢者筋力トレーニング事業の様子]



クラブ人材の育成支援

クラブの運営を担うクラブマネジャーの養成と資質の向上を図るため、「クラブマネジャー養成セミナー」と「フォローアップセミナー」を開催しています。

クラブマネジャー養成セミナー

平成23年度までに337名の方がセミナーを修了し、日本体育協会の公認アシスタントマネジャー資格を129名が取得しています。



フォローアップセミナー

クラブマネジャー養成セミナー受講者のスキルアップのために開催されています。



みんなでつくる総合型！
総合型地域スポーツクラブ

夢にちかづけ！

FULL SPO でステップ!!

「FULL SPO」は子供から高齢者まで誰もがそれぞれの目的に合わせて楽しく参加出来るクラブとして、平成23年2月13日に誕生しました。人と人とのふれあいを通して、お互い健康への意識を高め合えたらと思い、スタッフ一同、心をついに頑張っています。スポーツを通じて、子供たちが強く優しい心と体を育み、世代を超えた交流活動で、思いやりの心を学び、人を学び、古きを伝え、新しきを学ぶ。結果、誰もがこの町を愛し、住みよい町になればと思っています。そこに「元気で笑顔があふれる古殿町」があると考え、日々活動をしていきたいと思っています。大きな夢ではありますが、まずは「踏みだそう」を合い言葉に、今小さな一歩を踏み出したところです。

23年度サッカー教室では、小学生低学年コースと高学年・中学生コースの2コースで開催いたしました。各コースとも技術の向上はもちろん、チームプレイを通して連帯感や、競争心が養われてきていることがわかります。また他教室の参加者からは、ニュースポーツへの興味、チャレンジに意欲的な声も聞かれ、スタッフの原動力となっています。現在各教室に参加された方々からは好評をいただいておりますが、ますますFULL SPOの輪を広げ、既存団体との連携を組み、町の活性化や青少年育成に協力していきたいと思っています。

今後の課題として「継続は力なり」－FULL SPOを広く町民に理解していただき、健康維持のために進んで参加していただけるように、地道でも継続して活動していくこと。「温故知新」－古き良き伝統にふれ、伝承、そして郷土愛を育む為にも、なかなか各教室に出向いてくることが難しい高齢者の方々への活動として、各地域へ出向き交流の場をもつこと。

ひとりでも多くの方々から「楽しかったね！」の声が聞けるようスタッフ一同頑張っていきたいと思っています。

主な事業内容

教室活動: サッカー教室(低学年コース)(高学年・中学生コース)
ピラティス教室(リラックスストレッチコース)(ゆがみ改善コース)
エアロビクス教室・バドミントン教室
ラージボール卓球教室・カローリング教室

イベント活動: ウォーキング・スポーツバイキングデー
サッカー大会「FULL SPO カップ」・スポーツ観戦
トップアスリート事業・スポーツ医事トレーニング相談事業
指導者派遣事業



サッカー大会



ウォーキング



スポーツ医事・トレーニング相談事業



サッカー教室



サッカー教室



エアロビクス教室

お問い合わせ先

FULL SPO 事務局
〒963-8304
福島県石川郡古殿町大字松川字横川235
TEL・FAX 0247-53-3545
E-mail fullspo.fururun23213@pure.ocn.ne.jp

広域スポーツセンター

「総合型地域スポーツクラブ」の創設、育成、定着を支援します。お気軽にご連絡ください。

うつくしま広域スポーツセンター (県体育協会事務局内)

福島市杉妻町5番75号福島県庁東分庁舎3号館
http://www.u-kouiki.jp/USC.html
E-mail: utskushima@u-kouiki.jp

TEL 024-526-4680
FAX 024-526-4681

浜通り広域スポーツセンター (いわき市民プール管理棟内)

いわき市下荒川字南作101
http://www.u-kouiki.jp/USC.html

TEL 0246-29-8608
FAX 0246-29-8608

会津広域スポーツセンター (会津若松市ふれあいスポーツ広場ふれあい体育館内)

会津若松市一箕町大字八幡字八幡2の1
http://www.u-kouiki.jp/USC.html

TEL 0242-37-0588
FAX 0242-37-0933

平成23年度 福島県県民スポーツ振興協力会員名簿

～私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

法人団体の部(加入順)

福島県商工会連合会	(株) クラロンスポーツ	福島県商工信用組合
福島県信用金庫協会	福島県信用保証協会	(有) 吾妻印刷
福島県旅館ホテル生活衛生同業組合	キング印刷(株)	(株) 福島民報社
福島民友新聞(株)	福島県議会スポーツ振興議員連盟	磐城通運(株)
(株) 東館	福島テレビ(株)	東信建設(株)
(株) ファルテック福島工場	(株) 東北装美	ゼビオ(株)
(株) 環境分析研究所	(株) モリヨシ技研	福島県ゴルフ連盟
(株) ウエディングエルティ	(株) クレハ環境	関場建設(株)
東北建設(株)	(株) ひらい	東開クレテック(株)
庄司建設工業(株)	福島県中央商工振興協同組合	原町港湾運送(株)
福島日産自動車(株)	福島県建設業協会双葉支部	福島トヨタ自動車(株)
タニコー(株)	(株) 福島中央テレビ	クリナップ(株) いわき事業所
東京電力(株) 福島営業所	東北電力(株) 福島支店	(株) 山川印刷所
(株) 民報印刷	小名浜製錬(株) 小名浜製錬所	クレハ(株) いわき事業所
福浜大一建設(株)	(株) 加地和組	クレハ錦建設(株)
堀江工業(株)	大塚製菓(株) 郡山出張所	陽光社印刷(株)
名木製帽店	(株) 海老名建設	(株) 高橋建設
江花建設(株)	福島ガス(株)	(株) ダイユーエイト
(株) ヤクルト本社福島工場	寿建設(株)	福島ヤクルト販売(株)
六陽印刷(株)	(有) エンドースクリーン	(株) NIPPOコーポレーション福島支店
北斗印刷(株)	オノヤスポーツ(株)	名鉄観光サービス(株)
スポーツニッポン新聞社福島支局	(株) レオック東北	(学) 新潟総合学院FSG専門学校グループ
(株) 日産サティオ福島	(株) トヨタレンタリース福島	(株) テレビユー福島
(株) 福島放送	県高等学校体育連盟	福島観光自動車(株)
トーアエイヨー(株)	アルパイン(株)	福島銀行
福島トヨペット(株)	東北索道協会福島地区部会	竹屋旅館
(株) ル・プロジェ	(株) サンベンディング福島	(株) プロセス印刷
喜多方観光バス(株)	医療法人舘グループ郡山整形外科リハビリテーション科	医療法人待井循環器科内科クリニック
齋藤整形外科医院	(有) むもん	ワタナベカーペット(株)
第一温調工業(株)	(株) 佐藤信博建築設計事務所	大宝建設(株)
(株) ヤスタ創建	東栄物産(株)	川俣貨物(株)
セントラルウェルネスクラブ福島	入三機材(株)	(株) 福南電気
(株) セルラー電話サービス福島	(株) 福々和本舗	医療法人佐原病院
菅野建設(株)		

個人の部(加入順)

片吉花	平田井	俊政宣	夫勝明	北林星	村木	孝幸光	男夫一	本朽国	宿木井	尚耕裕	結岩長	城本岐	勝忠	夫夫博	佐佐岩	藤藤田	十昌	次志徹	斎本鈴	藤田木	久俊浩	男教一
六角荒	戸川山	正信弘	幸郎進	鈴渡関	木辺城	義正博	祐仁之	佐伊佐	藤藤藤	一敬司	橘滝佐	田藤田	和勝信	彦彦行	遠福藤	藤田彌	寛寛兵衛	均樹治	福宗星	田橋山	俊香	二里知
柴佐渡	藤邊野	弘康	樹彌典	東白斎	根須藤	正一秀	幸英行	矢鷺野	森地藤	彦伸淳	富佐福	藤本田	孝祀政	志男之	平高松	石橋村	家千正	昭勝三	山高平	橋山部	康孝敏	夫美治
高古関	川根井	雅智和	秀美朋	佐御代	藤田井	新公祥	治男一	安坂白	本石藤	一勝恵	太砂子	田崎崎	豊敦俊	秋博紘	深山高	谷本橋	秀和光	三子造	武橋高	野田	政浩豪	弘二一
掘森館	田合脇	正一弘	満典弘	山小	田松	常一	彦彦	米	沢	志	尾	形	幸	男	作	野	誠	一	野			

(敬称略)

加入のお願い

「福島県県民スポーツ振興協力会」は、「ふくしま国体」の成功を契機に設立されました。この協力は、生涯スポーツを推進し、県民の「だれもが、いつでも、どこでも」気軽にスポーツに親しむことができるようにするために、また、県の競技力の維持・向上を支援するために活用されています。本協会の趣旨を御理解いただき、会員は年々増加しておりますが、より多くの方に加入いただき本県のスポーツ振興を支えていただきますようお願いいたします。

●加入期間……入会後5年間 ●協力量額……毎年度あたり1口1万円。1口以上何口でも可。

●加入窓口……財団法人福島県体育協会事務局 総務係TEL024-521-1291

編集後記

東日本大震災からこの1年、誰もが少しずつ復興へ向けて歩いてきました。その道は険しく、歩み続けるのが困難な時もあったかと思います。そんな時に背中を押してくれたことの一つに、「スポーツの力」があったのではないのでしょうか。国体等での本県選手団の活躍、国際大会での日本人選手の活躍が、私達福島県民に勇気と力を与えてくれたように思います。

また、2012年はロンドンオリンピックが開催されますので、スポーツの素晴らしさを再確認したいと思います。

今後とも県民の皆様へ、さまざまなスポーツの情報提供ができるよう努力してまいります。

掛金が改定
されました

スポーツ安全保険

傷害保険

賠償責任保険

突然死葬祭費用保険

5+
5名以上の団体で
ご加入ください

写真提供 空手道マガジン月刊「JKFan」
毎月23日発売 <http://jkfan.jp/jp/>

対象となる事故 **団体活動中の事故／往復中の事故**

保険期間 平成24年4月1日午前0時より平成25年3月31日午後12時まで(申込受付は平成24年3月から)

加入区分・掛金・補償金額

掛金が改定されました

(団体活動を行う5名以上の方々で、加入区分をそれぞれで選択のうえご加入ください。)

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (最 高)	入院 (日 額)	通 院 (日 額)		
子ども (中学生以下 (特別支援学校 高等部の 生徒を含む。))	スポーツ・文化・ボランティア・ 地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など)
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段：団体活動中およびその往復中の補償額 下段：上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円 熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒の場合、保険金額はA1区分と同様	3,150万円	5,000円	2,000円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億500万円 ただし、身体賠償は 1人 1億500万円	葬祭費用 180万円
				100万円 熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒は対象となりません。	150万円	1,000円	500円	身体・財物賠償 合算 1事故 500万円	対象と なりません
大人	文化・ボランティア・地域活動 団体員の送迎、応援、準備、片付け	A2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は1人 1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	スポーツ活動 スポーツ活動の指導・審判	C	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
	子どものスポーツ活動の指導・審判 ※C区分でも加入可	AC	1,300円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円		
	スポーツ活動 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない方はA2区分	B	1,000円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

※同一団体で1口しか加入できません。中途加入する場合、中途脱退する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入換え、加入区分の変更はできません。

※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

インターネットからの加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。

Web

スポーツ安全協会

検索



財団法人 スポーツ安全協会 福島県支部

〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館 TEL 024-526-4600

電話受付時間: 午前9時～12時、午後1時～午後5時(土、日、祝日を除く。)

保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付けております。

この広告はスポーツ安全保険(傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険)、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約付帯施設賠償責任保険およびスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険株式会社までお問い合わせください。

(引受幹事保険会社)
東京海上日動火災保険株式会社 (担当課) 公務第2部公務第1課
TEL 03-3515-4133 (平日9:00～17:00)
(共同引受保険会社(平成24年4月予定))
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動
日新火災 日本興亜損保 富士火災 三井住友海上
平成24年1月作成 11-T-09434